

# 砂防事業評価委員会 議事概要

1. 日 時：平成31年3月8日（金） 14：00～16：00
2. 場 所：中央合同庁舎第2号館1階 共用会議室3A、3B
3. 出席者：小山内委員、大野委員、笠井委員、関戸委員、土屋委員
4. 議事概要
  - 平成31年度予算に係る砂防関係事業の新規事業採択時評価について、事務局より説明後、審議を行った。
  - その結果、事務局より説明した天竜川中流地区直轄地すべり対策事業、砂防関係個別補助事業について、「平成31年度に予算化することが妥当である」とのご意見をいただいた。
  - なお、各委員より以下の意見・質問があった。
    - 天竜川中流地区直轄地すべり対策事業について
      - ・ 事業の進め方について全体的に平均的に20年かけて完成させるのか、それとも数年毎、箇所毎に完成させていくのか。  
(回答) 全体的に安全率を高めていくという工事の進め方になると考えている。
      - ・ 地区の安全を高めるためにはハード対策だけでなくソフト対策についても情報の提供や避難の仕方についてよく勘案した上で事業を進めてほしい。
      - ・ 観測体制の整備、豪雨後の異常情報の提供は重要であるが、事業期間の中でどのように観測機器を整備していくのか。事業期間終了後の機材の管理、データ収集の主体はどうなるのか。  
(回答) 地盤伸縮計等を設置し、観測体制の整備を早期に進めていく予定。事業終了後は県で必要な機器を管理していただくことになる。
      - ・ 天竜川中流地区の3地区を連動して対策を実施することが重要であり、それに加えて、周辺の危険な箇所へのケアも重要である。また、20年間の事業期間の中で地区の状況が変化すると考えられるのでそれに応じた対策が必要である。
      - ・ 天竜川中流地区で大きな災害が起こると、迂回路も寸断され費用便益分析で計算されている交通途絶被害よりも経済的な被害が大きくなる可能性がある。
    - 個別補助事業について
      - ・ 今後、土砂・洪水氾濫による災害が増える可能性が高いため、新たにつくられた個別補助事業により対策を進めていくことが重要である。
      - ・ 新規の補助事業については防災にとって意義のあるものであり、優先度の高いものを選んで、事業を推進していただきたい。
      - ・ 「評価の考え方」の資料について分かりやすいように記載を工夫してほしい。また、評価点の分布のグラフについて表示方法を改善してほしい。  
(回答) 次回、補助事業について委員会に諮る機会には改善を図っていく予定。